デュアルカメラブレーキサポート

●デュアルカメラブレーキサポートは運転者による安全運転をサポートし、衝突を回避したり衝突時の被害を軽減したりすることを目的としていますが、その検知・制御性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。

●デュアルカメラブレーキサポートは走行時において、ステレオカメラが前方の車両または歩行者を検知し、「前方衝突警報機能」、「前方衝突警報ブレーキ機能」「前方衝突被害軽減ブレーキアシスト機能」、「自動ブレーキ機能」によるサポートを行なうことで、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図る機能です。

●デュアルカメラブレーキサポートは運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合や作動しない場合があります。

●詳しくはホームページをご確認いただくか、販売会社にお問い合わせください。

車線逸脱警報機能

●車線逸脱警報機能はカメラが左右の区画線を検知して進路を予測し、速度が約 60km/h～約 100km/h で走行中に車線をはみ出しそうになると、ブザー音などの警報によって運転者に注意を促します。

●車線逸脱警報機能は運転者による安全運転をサポートし、車線のはみ出しを予防することを目的としていますが、その検知性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。

●車線逸脱警報機能は運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、作動しない場合があります。

●詳しくはホームページをご確認いただくか､販売会社にお問い合わせください。

後退時ブレーキサポート

●後退時ブレーキサポートは超音波センサーで後方の障害物との距離を測り、ブザー音で障害物の接近をお知らせし、さらに、約 10km/h 以下で後退中に後方の障害物との衝突の可能性が高まると自動ブレーキが作動し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

●後退時ブレーキサポートは運転者による安全運転をサポートし、衝突を回避したり衝突時の被害を軽減したりすることを目的としていますが、その検知・制御性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。

●後退時ブレーキサポートは運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合や作動しない場合があります。

●詳しくはホームページをご確認いただくか､販売会社にお問い合わせください。

誤発進抑制機能

●誤発進抑制機能は駐車場などで、前方に壁などがあるにも拘らず、停車または徐行中（約 10km/h）にアクセルペダルを強く踏むと、最長約 5 秒間、エンジン出力を自動的に抑制し、急発進・急加速を抑えて、踏み間違いなどによる衝突回避に貢献します。

●誤発進抑制機能はブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。

●誤発進抑制機能は運転者による安全運転をサポートし、踏み間違いによる衝突時の被害を軽減することを目的としていますが、その検知・制御性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。

●誤発進抑制機能は運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突被害を軽減できない場合や作動しない場合があります。

●詳しくはホームページをご確認いただくか､販売会社にお問い合わせください。

後方誤発進抑制機能

●後方誤発進抑制機能は駐車場などで、後方に壁などがあるにも拘らず、停車または速度約 10km/h 以下で後退中にシフトを R（後退）の位置でアクセルペダルを強く踏むと、エンジン出力を自動的に抑制して急な後退を防止します。シフトの入れ間違いなど誤操作による衝突回避に貢献します。

●後方誤発進抑制機能にはブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。

●後方誤発進抑制機能は運転者による安全運転をサポートし、誤操作による衝突時の被害を軽減することを目的としていますが、その検知・制御性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。

●後方誤発進抑制機能は運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突被害を軽減できない場合や作動しない場合があります。

●詳しくはホームページをご確認いただくか、販売会社にお問い合わせください。

ハイビームアシスト

●ハイビームアシストは、ステレオカメラのセンサーを使用することにより、先行車のライト、街路灯の明るさなど車両前方の状況を判断しヘッドライトの上向き（ハイビーム）、下向き（ロービーム）を自動的に切替える機能です。約 30km/h 以上で走行時、前方に先行車や対向車がいない時はヘッドライトが自動的に上向きに切り替わります。

●ステレオカメラが前方車両や光源を認識できず、ハイビームアシスト機能が正しく作動しない場合があります。必要に応じて手動でハイビームとロービームに切替えてください。

●ハイビームアシストのシステムを過信せず常に周囲の状況を把握して注意を払い、安全運転に努めてください。

●詳しくはホームページをご確認いただくか、販売会社にお問い合わせください。